

茨城県総合計画審議会からの

メッセージ

県民が「^{じぶんごと}自分事」と思える計画へ～総合計画審議会からのお願い

これまで、総合計画の存在を、県民の皆さんの何パーセントが知っていたでしょうか。今回、県知事も替わり、総合計画審議会の委員構成も随分と変化しました。各分野の専門的な有識者や若手の企業家など、それぞれの視点からの意見が自由に発言できる場として、平均年齢も若返り、そして、女性委員が過半数となりました。

私たち総合計画審議会は、計画案に関して県民の視点で、専門的な立場も踏まえて審議し、その結果を県に答申するのが主たる仕事です。

最初の会議で、茨城県の主役である「県民」が県行政の方向性を理解し、「自分事」と感じられる計画にしたいと話し合いました。その思いに沿って、会議時のみならず、委員同士で連絡を取り合って積極的な意見交換を進め、計画に反映してきました。

計画策定の審議を通じて、審議会として、県民の皆さんに是非、実践していただきたいことがあります。このようなお願いは異例なことだと思いますが、お読みいただければ幸いです。

■「いばらき県民意識改革」のお願い

総合計画は、県職員だけが取り組むのではなく、県民にその内容をよく知ってもらい、行政と一緒にあって県づくりを進めていく指針になるものです。

県民性を表現するうえでよく言われる「茨城には、いいもんなんか、なにもないよ」といった口癖は、いいものに囲まれ満足している裏返しかもしれませんが、是非、「茨城の魅力再発見」「PR上手に挑戦」していただきたいと思います。県民のこのような実践が県民の自信と誇りと県への愛着を高め、さらにいいものを生み出し、生き生きとした県づくりにつながっていくと思います。

また、県民一人ひとりがその能力を最大限発揮できる社会の実現には、例えば、男女分け隔てなく育児休業を取ることが当たり前の組織・社会になって欲しいと思いますし、自分の意見や考えを堂々と話し、多様な意見を取り入れて、みんなで意見交換して物事を決めていくという風土になって欲しいと思います。

私たちは、総合計画を実現するうえで、県民の皆さんに5つの「意識」を持っていただきたい。「いばらき県民意識改革のすすめ5箇条」を考えました。当たり前のことかもしれませんが、その当たり前を、一人ひとりが実践されることで、県を発展させていく大きなうねりになると考えます。

【いばらき県民意識改革のすすめ5箇条】

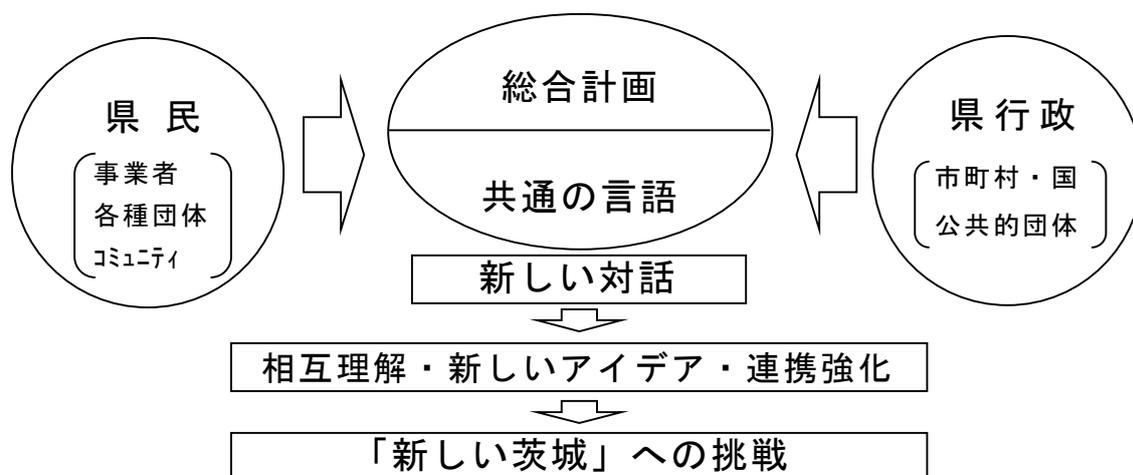
- ① 今ある資源の魅力再発見に努めましょう！脱・PR下手。PR上手に挑戦しましょう！
- ② 目標に向かって、どうすればできるか、諦めない粘り強さを発揮しましょう！
- ③ 自分の考え、アイデアを持ち、きちんと意見交換して物事を決めていきましょう！
- ④ 「全ての人自分らしく」を県民みんなで実現しましょう！
- ⑤ 子供たちがその「夢」を実現できる「茨城」となるよう、未来を見据えた行動を心がけましょう！

■総合計画を県行政と県民の「共通言語」に

総合計画は、県が県民に対して、県の目指すべき将来像とそれに向かって展開する施策の方向性を示したものです。

皆さん、この計画のなかから、自らの実現したい夢、困っていること、地域や社会のために貢献したいことなど皆さんの「自分事」に関連する記述を探してみてください。

その記述を自らの視点でよく読んでいただき、ご自分の活動に対して行政が支援するようなものであれば、それを向上させるために行政を「活用」していただき、ご自分の活動と行政が連携することによって豊かな生活や地域の実現に近づくことができるようなものであれば、一緒になってそれを進めていただきたいと思います。県民の皆さんには、是非、総合計画を、「知る人」となるのはもちろん、「使う人」、「発展させる人」になっていただきたいと思います。



このように、総合計画が県民と県行政とを結ぶ「共通言語」となることで、「新しい対話」が始まり、「相互理解」が深まっていくと思います。その結果、行政・県民問わず、「新しいアイデア」が出されるようになり、多くの主体との「連携強化」がなされ、「新しい茨城」への挑戦に取り組んでいくことが可能になると考えます。

■県職員の皆さんへのお願い

以上、いろいろと県民の皆様にお願いましたが、最後に、県、すなわち、県職員の皆さんへのお願いです。「新しい茨城」への挑戦をリードする原動力は、県職員の皆さんであることは言うまでもありません。茨城県は、大井川知事が就任し、まさに、新しい組織として生まれ変わり、次々と、新しい施策が打ち出されています。その創意工夫、ご努力に深く敬意を表します。

ただ、ややもすると、その広大な行政エリアやたくさんのニーズを目の前にして、「行政の都合」で政策ができてしまうこともあり得るかもしれません。是非、県民の生の声を真摯にお聞きして、県民の力を信用し、これを活用して、一緒に政策をつくり、取り組んでいくような姿勢を持ち続けていただきたいと思います。

2018年10月30日

茨城県総合計画審議会